

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 4 回理事会 議事録

開催日時：平成 27 年 10 月 16 日（金） 18:30～

出席者：兼子、諏訪、浅野、藤井、帖佐、武藤、森、青木、松浦、高崎、古池、可児、
鈴木満、和田、多和田、近藤、鈴木敦、白井、森本、渡辺、太田、荒井

欠席者：柴、関、山岸

議長：兼子

議事録：藤井

【連絡事項】

1 日臨技より

藤井庶務部長より報告。

- ・都道府県新会員管理システムの運用についての依頼

都道府県新会員管理システムの運用方法が、都道府県技師会専用サイトのトップページ「日臨技からのお知らせ」に順次掲載されるので確認のこと。

- ・先駆的チーム医療実践講習会「国家プロジェクトとして認知症領域への対応」の都道府県技師会先行募集についての依頼があった。

- ・自然災害による被災会員に対するお見舞い金申請手続き等についての通知があった。自然災害で被災し、規程の条件に該当する会員がある場合、所定の「届出用紙」に記入し、中部圏支部の支部長に提出する。

- ・次期参議院選挙の出馬推薦についての依頼があった。岐臨技として推薦状を出すこととした。宮島会長が自民党の公認となった兼子会長より報告があった。

2 地区報告

岐阜地区

- ・帖佐理事より、平成 27 年度春季拡大研修会決算書の報告があった。収入 251,784 円、支出が 323,694 円で 251,784 円の赤字となった。

- ・森理事より、11 月 8 日の岐阜市健康まつりについて報告があった。

今回は頸動脈エコーを行う（2 台使用）、初めての企画ですこし心配している。

会長、日当・交通費計算のため参加者名簿の要請があった。

白井先生よりエコーのアースはどうやって取るのかと質問があった。3P で取るとの回答があった。

西濃地区

- ・西濃地区理事より報告があった。

平成 27 年 10 月 18 日に大垣城ホールで大垣市民の健康広場を前回の理事会で予算承認された内容で行う。実務担当は 11 名。

9 月 16 日（水）大垣徳州会病院で開催日程の確認、事前準備分担、当日の流れについての説明を行った。

機器は白井理事が手配した。のぼりは来月使用予定があるため、早めに返却をする。日当と交通費がまだ支払われていないため、申請書を願いし、後日支給する。

中濃地区

- ・藤井理事より平成 27 年秋季拡大研修会についての報告があった。

テーマは糖尿病で、平成 27 年 11 月 15 日（日）に岐阜医療科学大学で開催。

岐阜大学大学院医学系研究科臨床教授 宮崎龍彦先生「糖尿病のかたち」、大垣市民病院糖尿病・腎臓内科 柴田大河先生「糖尿病治療薬の進歩」の講演。

市民公開講座は、鈴鹿医療科学大学副学長 長村洋一先生に「健康は食生活でこんなに変えられる」の講演をお願いした。

ランチョンセミナーは、サクラファインテックジャパン株式会社の藤本幸司先生に「標本作成をサポートする全自動薄切装置はどうあるべきか」と、積水メディカル株式会社の小田善輔先生に「糖尿病と検査について ～新しいマーカー L-FABP～」の講演をお願いした。

現在広告協賛は 10 社が登録。

- ・高崎理事より秋季拡大研修会と県学会の進捗状況について報告があった。

秋季拡大研修会では、9 月の末に案内送付、現在参加者を募集中。参加人数が分かった段階で弁当注文する。

ポスターを見やすいように作り直した。関市内に掲示予定。

学生も参加して、健康チェック（血管年齢）を行いたとの発言があり、会長許可。

10 月 28 日に資料集入稿、予算 10 万円、200 部を予定。

広告協賛の広告を A4 の半分を予定しているが、A4 しか無い業者があり値段を 2 倍にした方がいいかと質問があった。すべて A4 にしたほうが良いとの意見が多くあり、A4 に統一する事にした。

10 月いっぱいまで広告を募集する。11 月の初旬に実行委員会を開き最終打ち合わせをし、11 月 5 日に校正、11 月 13 日に納品し研修会を迎える、と言う流れであるとの説明があった。

会長より、日当・交通費計算のため、実行委員会議の出席者と、研修会当日の実務委員の名前を知らせるよう要請があった。

第 53 回岐阜県医学検査学会は、進捗状況が少し遅れているとの報告があった。

開催日を卒業式の準備のため 3 月 13 日から 3 月 20 日に変更の要請あった。3 月末は決算が迫っており、3 月 20 日に決定した。

11月末にプログラム、予算書作成、案内発送し、12月から1月まで演題募集、1月末抄録集作成、2月下旬実行委員会、3月20日開催のタイムスケジュールの説明があり、承認となった。

飛騨地区

- ・飛騨地区理事より、高山市民健康まつりについての報告があった。

開催日時：平成27年10月4日（日）8:30～15:00 会場：高山市健康センター、来場者2400名 臨床検査コーナーへの来場者数166名を予定、スタッフ16名。

今回のテーマ「健康へ ころもからだもステップアップ！」。

血管年齢85名、骨密度81名、血管年齢測定のパフレットを用いての検査説明、骨密度測定の結果記録紙を渡し、結果説明を行う。

実行委員会は2回開催。

大きな問題なく終了した。次年度は、内容を検討するとの報告があった。会長よりできるだけ楽しく行って下さいとの意見があった。

東濃地区

- ・鈴木東濃地区理事より、やさか健康まつりが10月25日に行なわれると報告があった。
- ・企画書が出ていないので、電話をした。3名が参加し、骨密度測定を行うとの事であった。会長からも申請書提出の要請があった。

3 学術部

- ・組織強化セミナー開催の要請が日臨技からあった。開催期間、平成27年9月～平成28年3月、企画内容は「医療情勢と臨床検査技師の今後のあるべき姿について」（60分）演者は宮島会長もしくは、日臨技担当理事。開催場所は、各都道府県技師会の指定会場。会場の手配は各都道府県技師会が行う。

- ・組織強化セミナー終了後、引き続き日本臨床検査技師連盟主催のセミナーを開催する方向で進めているとの案内が来たため、今後部門長会議などで検討をして行きたい。

- ・輸血細胞治療部門実技研修会が平成27年11月8日（日）に行われる。

- ・内容は試験管法による目合わせ、ABO・Rh血液型判定、不規則性抗体スクリーニングおよび同定。募集人員10名、参加費4,000円。実技研修会を予定している。

- ・今年度は厚生労働省の研究費申請が採択されなかったため、技師会での主催の対応となった。今後も継続していきたいが、厚生労働省からの研究費があれば、合同輸血療法委員会での主催としたい。

- ・参加費は、昨年は研究費があり無料であったが、今回は技師会主催のため4000円とした。ちなみに中部圏支部の研修会は10000円であったこと、日臨技の生涯教育助成金が見込まれる事で4,000円とした。

- ・定員 10 名は、大学の輸血部検査室での開催であるため、会場が狭いこと、数名のスタッフで対応可能であるということが、八木部門長の回答であった。
- ・消耗品、試薬代等が 124,000 円程度である。会長より、大まかに計算して赤字 50000 円程度と思われ、これで進めてほしいとの意見があった。
- ・第 5 回微生物部門研修会の外部講師は、東京医科大学微生物学講座 教授 大楠 清文先生と、亀田総合病院 臨床検査部長 大塚 喜人先生の 2 名。メーカーと共催で行い、企業は講師料と宿泊代を、岐臨技は交通費を負担する。交通費は、大楠先生が 23,660 円、大塚先生が 30,860 円で、外部講師として承認された。
- ・独立行政法人国立病院機構 医療センターが作成した「なるほど・ザ・検査ミニ知識」第 2 版を、検査と健康展で配布する準備を進めている。現在許可を申請中との報告があった。反応が良ければ岐阜県の健康まつりなどで使用して行きたい。

4 精度管理事業部

- ・8 月 30 日に岐阜市民病院で精度管理資料を梱包し発送した。現在、各施設に一次評価が届いている状況である。
- ・毎年試料の発送漏れがあるため確認を慎重に行ったが、防ぎきれなかったため、試料を再発送した。
- ・病理で、申し込みをしたにもかかわらず参加しない施設が 1 施設あった。
- ・今回は、 $\pm 2SD$ 以上を是正対象とした。
- ・共用基準範囲に関しては、精度管理部会から、今年度中に各施設に推奨文を出したいと考えている。岐阜大学の清島教授からは、来年 1 月に案内を出すよう回答があった。
- ・日臨技から、精度管理試料を次年度から販売するとの案内があったが、高額であった。九州の篠原先生が、当面は試料を作成すると聞いており、今年度も試料を購入した。
- ・日臨技から試料を購入するメリットは、目標値の設定が可能で、日臨技精度管理と全国集計が可能になる点であり、日臨技精度管理調査資料との違いは、ロットの違いだとの報告があった。
- ・日臨技の資料価格は、現在（九州）の価格の 4 倍のため、今回は購入しない。
- ・施設認証 10 月からスタートしている。44 施設が日臨技精度管理調査を受けているが、中には、岐臨技の精度管理調査を受けていない施設もある。日臨技と岐臨技両方受けていないと施設認証は受けられない。
- ・判定の問い合わせに関しては、各担当に問い合わせること。救済日をもうけると報告があった。

5 組織調査部

- ・平成 27 年全国「検査と健康展」の企画書を提出した（9 月末提出期限）。各部門からいただいた企画を載せた。予算書も概算を記入し提出した。

- ・日程は11月29日（日）10時～15時、場所はアクアウォーク大垣内アクアホール。
- ・後援を厚生労働省、岐阜県病院協会、岐阜県看護協会、大垣市教育委員会からいただいた。
- ・来場予定者数は100名。わかりにくい場所のため少なく見積もったが、商業施設内であり、来場者が多い可能性もある。
- ・大垣の高校には案内を出したが、期末試験のため来場は困難と返答があった。
- ・日臨技は11月開催というが、秋のシーズンは学生はイベントが多く、開催時期は検討が必要である。できれば日臨技と話し合い11月は避けたいと考えている。会長より、少しはずらしてもいいとの意見があったが、臼井組織調査部長は、できれば学生行事の少ない、春に行いたいとの意見であった。
- ・中学校は教育委員会の許可を取る必要があり、中学校校長会の会長に承認を得て文章を送る事にした。岐阜医療科学大学に入学した学生の出身高校・中学に11月初めに案内文章をする予定である。
- ・会場レイアウトはまだ決まっていない。西濃地区の担当でシミュレーションを行う。
- ・「検査と健康展」開催にあたって臨時診療所を開設しなくてはならない。現在、西濃保健所に申請中である。
- ・検査学校紹介を岐阜医療科学大学と東海学院大学を考えている。
- ・当初はアクアウォークの壁に、直接展示物を貼るように考えていたが、添付できないと言われたので、衝立を準備する。画鋏で添付するよう担当者にはお願いした。
- ・企画、内容、予算に関しては、本日各部門担当者には連絡をした。日臨技からの提供物（リーフレットなど）本日届いた。
- ・各部門の担当者以外で協力してもらえる方を募集したところ12名の応募があった。
- ・前日にパネルを搬送、その他機器や顕微鏡は当日の搬送となる。
- ・11月15日にHIV検査会を行う。会長より、7名の会員に実務をお願いした。事前研修会には臼井組織調査部長が参加する。

6 広報宣伝部

- ・宮島会長の選挙について、広報誌に乗せてよいかとの質問があったが、詳細は今のところ不明、日臨技から何か方針があればお知らせすると、会長の回答があった。

7 法人対応部より

- ・法人電子申請は、6月の総会のすぐ後に申請したが、2ヶ月以上経っても返事が来ない。今月中に返事がなければ問い合わせを行う。
- ・次年度より、法人対応部の名称変更し、大腸癌部会と医療勤務環境改善を下部組織とする。会長の意見では、環境改善は女性の方で、理事にこだわらず、若い人にも入ってもらいたいとの事であった。

・鈴木部長より法人対応部の名称の変更は総会ではなく理事会で承認してもらえば変更は随時可能との発言があった。

・登記は手続きを司法書士さんに委託する。

8 会計部より

柴会計部長が欠席のため兼子会長より報告があった。

・上期の会計確認が終わったので、26日に監事と会計士で会計監査を行う。その後、中間決算書を作成する

・各部の次年度の予算を12月25日までに提出するよう要請があった。

9 その他

・帖佐理事より中部学会の抄録集の発送が遅れた理由の経緯について質問があった。

兼子会長より、静岡の発送が遅かったと思われる。さらに、連休のため岐臨技の事務員が休みで、遅れたとの回答があった。

一部の座長にも送られておらず、誰の座長を行ったらいいかとの苦情があったとの報告があった。兼子会長より中部圏支部幹事会議で質問したが、今までも送っていないとの回答であった。

兼子会長より、次回から気をつけたいとの発言があった。

・兼子会長より、来年7月の参議院選挙に宮島会長が立候補する件について。

既に自民党の公認を得て後には引けない状態である。

岐阜の日技連執行委員は前会長の北村 顕会員で、10月の3日に東京で会議があり出席いただいた。

日技連より、日技連岐阜県支部設立の要請があり、事務所を岐臨技事務所にしたいの発言があった。政党の事務所とすることが可能か、詳細が分からないため、次回理事会までに、選挙管理委員会等に確認することにした。

議長

兼子 徹



議事録署名人

太田 義和



議事録署名人

渡辺 新司



印